

CUBIC 個人特性分析 個人詳細

2013/10/15 中途 東京 太郎

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内関性	社交意識が低い		45
	客観性	思考的思慮深い		50
活動型	身体性	機敏な・気軽な		51
	気分性	感情のまま行動		53
努力型	持続性	几帳面・忍耐力		56
	規則性	常識的・順法的		32
積極型	競争性	闘気な・積極的		61
	自尊心	気くらいが高い		58
自制型	慎重性	見通しをつける		47
	弱気さ	取返苦勞・遠慮		37

■この人の中心性格は「活動・気分性」および「積極・競争性」であるが、「積極・自尊心」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・気分性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ
 気分が周期がありその日によってリズムが異なる。調子のよいときは、快活で思い付きが早くカンなどにも鋭さがあり行動的だが、気分が乗らないときは沈んでしまったり、何を実行するにしてもキレがなく尻の重たさを感じさせ、自分から進んで物事に取り組みようとする積極性に欠けてしまう。感情に起伏の激しさがあるが、人間的にはお人好しである。そして、自分自身を力なく評価しているのかと思えば、自信満々になったりすることがあり、悲観的なのが楽観的なのが自分でもわからなくなったり、「できる」のか「できないのか」がつかめないという印象を他人に与えることがある。また、闘気な性格で目立ちたがりなところもある。他者と競争する場面では実力以上の成果をあげることもある。また、単刀直入に本音で話し合いたいとするあまり、感情的にみられ、対人関係でギクシャクすることもあるが独善的なものばかりではない。調子のよさが持続しているときは対外的にも頼りになるのだが、持続させるための刺激があることが望ましい。

●もう一方の性格特性
 規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく柔軟な考え方ができる。ルールにしばられず、コチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。また、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極める必要も知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			
容観・科学型			
社会・経済型			
心理・情緒型			
審美・芸術型			46

まず、個人の主性格を分析します。

社会性やどういうことに意欲を出すかを数値で表します。

信頼係数 回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

低 高

3 基本的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			64
協調性			70
責任感			46
自己信頼性			59
指導性			72
共感性			55
感情安定性			49
従順性			43
自主性			62
モトリム傾向			41

自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
 仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。
 皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。
 自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成欲求			49
自律欲求			63
求知欲求			54
危機耐性			68
勤勞意欲			64
顕示欲求			57
支配欲求			76
親和欲求			58
秩序欲求			28
物質的欲望			37

他人に依存したり頼りきった生活より、自力で生きたい。
 逆境に耐え、苦しいときも我慢よくやり抜こうとする。
 仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。
 人の上に立ち、他人を動かすような力関係を形成したい。
 多様な価値観や人間関係、状態を受入れることができる。

■この人は「対人関係が気になる」系統の欲求群が一番強く、ついで「人より優位に立ちたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

CUBIC 個人特性分析
診断分析
2013/10/15
中途
東京 太郎

【本人の性格特性】

■印が本人の位置

【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求 + 求知欲求
 □の形状：親和欲求 + 協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型

【判定結果A】 予測推定値 (見所)

(1) 一般の職場状況での可能性	42
(2) 海外など精神力の必要な職務	70
(3) 足腰のよさが武器になる職務	69
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	46
(5) 標準化された仕事や工場労働	55

【判定結果B】 当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」

「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】 大まかな職業興味領域とその方向性

(1) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
 (2) 「最適」営業など対人的接触をとらぬ仕事

【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積極意根表決指リ自調折独現洞企専情 極欲気任断導己己整衝創状洞察画門報 実熱強感勇力タ信力力新分力立知活用 行意さ 気 頼 新 析 案 識	B B B A A B B A A B A A C D D C D	B B C

【採用判定】

定着性・安定性 = 0

CUBICの判定結果 = 「B」

【判定結果D】 配置適性1

《適性の高い順》

- 「最適」営業管理者
- 「最適」広報管理者
- 「最適」営業専任者
- 「最適」広報専任者
- 「適切」企画管理者
- 「適切」人事管理者

《低い順》

- 「小適」経理専任者
- 「小適」営業専任者
- 「小適」基礎研究者
- 「小適」経理管理者
- 「小適」基礎研究管理者

【判定結果E】 配置適性2

- 「最適」教育研修
- 「最適」顧客開発
- 「最適」新規事業開発
- 「最適」経営企画
- 「最適」営業(積極?)
- 「最適」広報

- 「努力」人事
- 「努力」品質管理
- 「小適」購買
- 「小適」基礎研究
- 「小適」秘書

自己評価を表します。

どのような職務に向いているのか、
外勤型か内勤型かなどを表します。

定着性・安定性や
CUBICの判定結果
A~E(=適性の幅)
を表します。

CUBIC 個人特性分析

面談用

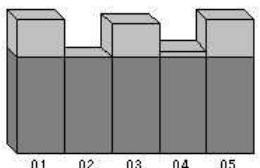
2013/10/15

中途

東京 太郎

【仕事に立ち向かう姿勢】

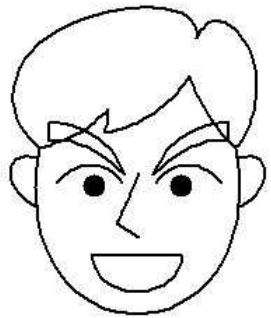
01: 積極性
02: 責任感
03: 自主性
04: 達成意欲
05: 勤労意欲



【心理要素イメージ】

眉の太さ: 指導性 眉の傾き: 従順性
 瞳の直径: 達成欲求 目の傾き: 達成欲求 + 求知欲求
 鼻の高さ: 顕示欲求 □の形状: 親和欲求 + 協調性
 顔の輪郭: 性格類型

逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【予測推定値(見所)】

(1) 一般的職場状況での可能性	42
(2) 海外など精神力の必要な職務	70
(3) 足腰のよさが武器になる職務	69
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	46
(5) 標準化された仕事や工場労働	55

【当人の傾向】

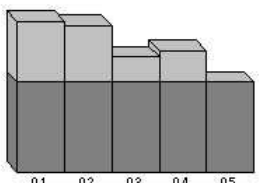
「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

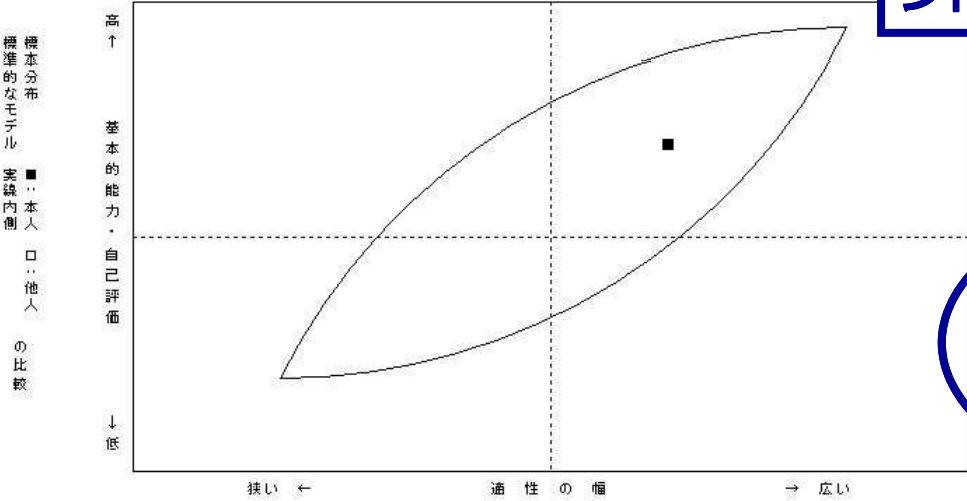
【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積極性	根拠	決断力
根拠	折衷	自調
根拠	独断	折衷
根拠	根拠	根拠

【組織だって仕事を進める能力】

01: 指導性
02: 協調性
03: 共感性
04: 親和性
05: 従順性





【判定】

定着性・安定性 = 0
 TYPE = [B]

【面談時のポイント】

指導性と支配欲求の指数がどちらも高いときは他人に対して高圧的でないか確認する。
 「適性検査の結果には皆の上立つ指導者の立場をとることが多いと出ていますが、自分自身を振り返るとどうでしょうか」

積極性と支配欲求の指数がどちらも高い場合は相手に高圧的ではないか確認しておく。
 「適性検査の結果によるとリカ-アップをとることが多いようですが、実際にリカ-として活躍した経験はありますか。具体的な経験を聞かせてください」

積極性と自律欲求の指数がどちらも高い場合は何でも自分のやり方を通そうとする。
 「適性検査の結果によると何事も自分のやり方で解決しようとする傾向がありますが、周囲の人の意見やアドバイスはどのように感じますか」

矛盾があるところや注意すべき点がある場合、面談時のポイントとしてコメントが表示されます。